

デジタルナイトラボ出張企画 すなえ縁日を終えて

2026/7/18

心よく会場をお貸しいただいた仁科商店の皆様に感謝いたします。おかげさまで、生徒はたくさんの経験をすることができました。これは校内だけでは得ることのできない経験です。

今回の「倉敷名物第76回土曜夜市」への出店を通じ、私たち高校生は教室では学べない多くの経験を積むことができました。当日、現場で感じたリアルな感想をまとめました。

一人ひとりに合わせた対応の難しさと楽しさ

小さなお子さんから大人の方まで、本当に幅広い年齢層の方と接することができました。手助けが必要な子もいれば、自分からどんどん楽しんでくれる子もいて、相手に合わせてどう接するかを考えるのは大変でしたが、とてもやりがいがありました。

もっと喜んでもらうために

ガチャガチャの呼び込みを担当した際、子供たちの反応を間近で見て、「もっといろんな種類のお菓子があったら、もっと喜んでもらえるはず！」と強く感じました。次はぜひ、この気づきを活かして準備したいです。

地域の方とのつながり

看板を見て「ここはどんな高校なの？」と声をかけてくださる方がたくさんいました。私たちの活動を地域の方に知ってもらえたことが、何より嬉しかったです。

お祭りだからこそできた体験

砂絵のコーナーなど、普段の学校生活ではなかなかできない体験を子供たちと一緒に楽しむことができました。私たちにとっても、忘れられない思い出になりました。

新しい自分への気づき

普段、園児や小さな子供たちと関わる機会はほとんどありません。今回、そうした子供たちと触れ合う中で、自分自身が少し成長できたような気がします。

今回の出店は、単なる「作業」ではなく、地域の方々との温かい交流の場となりました。慣れない環境での活動に疲れはありましたが、それ以上に、来場者の笑顔や直接いただく言葉から、多くの学びとエネルギーをもらいました。この経験を糧に、これからの活動もさらに盛り上げていきたいと思います！

そして、「新聞見たよ！」と、本校に勤められていた職員の方や地域の方、近隣の小学校の保護者の方が声をかけてくださいました。InstagramやFacebookにはない、新聞ならではのつながる力

をあらためて強く感じましたし、取材してくださった記者の方にあらためて感謝申し上げます。貴重なご縁をいただき、ありがとうございました。

ワークショップに参加された保護者の方からはとても温かく見守っていただき、子どもたちも楽しく砂絵を作ることができました。

開催後のアンケートでも、「手作りガチャガチャの工夫や裏側の仕組みにびっくりした!」「工業高校がどんなことをしているのかを知る素敵な機会になった。またぜひ企画してほしい」といった、たくさんの温かいメッセージや応援の言葉をいただいています。

今回の土曜夜市を通じて、地域の皆様と直接触れ合い、たくさんの笑顔に出会えたことは、生徒たちにとって大きな自信と成長の糧になりました。ワークショップにご参加いただいた皆様、そして温かいお声がけをくださった地域の皆様、本当にありがとうございました!



260718_土曜夜市_HP原稿-1784457133549.webp



260718_土曜夜市_HP原稿-1784457155934.webp



260718_土曜夜市_HP原稿-1784457173416.webp



260718_土曜夜市_HP原稿-1784457211108.webp



260718_土曜夜市_HP原稿-1784457229930.webp